

議会だより



▲市内の中学生が議会を傍聴
(平成30年3月13日)

平成30年第2回6月定例会(予定)

- 6月 1日(金)10:00～本会議 提案理由説明
- 7日(木)10:00～本会議 質疑・付託
- 8日(金)10:00～各常任委員会 12日迄
- 13日(水) 9:30～本会議 一般質問
- 14日(木) 9:30～本会議 一般質問
- 18日(月)10:00～本会議 報告・討論・採決

本会議・各委員会は傍聴できます。
みなさまの傍聴をお待ちしています。

主な記事

- ・委員会報告…………… P2～3
- ・予算特集…………… P4～5
- ・代表質問…………… P9～10
- ・一般質問…………… P11～15

委員会報告

～主な審査内容～

総務企画委員会

第2号議案

「大野城市ふるさと応援基金条例の制定について」

Q 寄付の目的を幅広くしているが、どの様なものを積み立てるのか

A ふるさと納税のポータルサイトから寄附が行われたものを積み立てる。

第3号議案

「大野城市コミュニティ条例の全部を改正する条例の制定について」

Q どの様にして市民の意見を聞いたか

A 本条例は、先に改正したコミュニティ構想ver.2の考え方を条例によって具現化したものであり、構想策定時には2000人を対象とした市民アンケートの調査と、各コミとの意見交換会等を進めてきた。また、今回改正においても各区長を中心としたまちづくり準備委員会の中で協議し、その意見を反映している。

Q コミュニティ別まちづくり計画とは

A 各地区の特性に併せて、課題解決に向けた力を発揮できるように、住民の役割分担を明確にしたまちづくりの姿を形にするものである。

第6号議案

「大野城心のふるさと館の設置及び管理に関する条例の制定について」

Q 職員体制はどうか

A 学芸員4名を含め、一般職員、臨時職員、嘱託職員を併せて、12名程度を配置する予定である。

Q 企画展の観覧料はどうか

A 企画展の観覧料については、500円を基準に考えている。ただし、内容を踏まえて、その都度適切な観覧料の設定を行っていく。

Q 今後、指定管理者制度を導入する考えは

A 当面、運営は直営で行うが、指定管理者制度の導入の可能性も踏まえて、今後の運営と運営の分析を行っていく。

福祉文教委員会

第7号議案

「大野城市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

Q 大野北保育所の定員を150名から161名に拡充予定だが、増員する児童の年齢や保育士の増員は

A 待機児童の多い0～2歳に充てたいと考えている。2名の保育士を増員予定である。

Q 待機児童解消に向けた今後の計画は

A 平成32年4月までに、現在よりも375人の定員増を計画している。

第8号議案

「大野城市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について」

Q 他市と比較して本市の介護保険料基準額はどうか

A 筑紫地区では大野城市が5400円、春日市は5800円、那珂川町が5550円、太宰府市5360円、筑紫野市5200円となる見込みである。筑紫地区では平均5460円で、本市は平均よりも少し低い設定となっている。

第9号議案

「大野城市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について」

Q 障がい者サービスの指定を受けた事業所が介護サービスも受けられるようになるが、指定までどれくらいの期間がかかるか

A 地域密着の指定は市で行っている。申請から約2ヵ月から3ヵ月間で指定の事務を進めている。

都 市 環 境 委 員 会

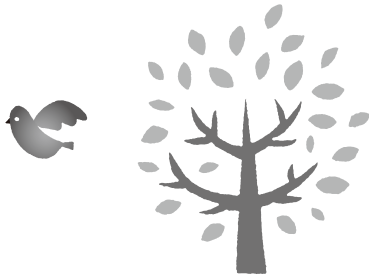
第16号議案

「市道路線の廃止について」

第17号議案

「市道路線の認定について」

※第16号議案及び第17号議案については、県道飯塚大野城線と現人橋乙金線の整備完了に伴い、既に認定している道路の起点・終点に変更が生じるため、既認定道路を一旦廃止し、再度認定するもので、一括して審議しました。



Q 道路の認定で、道路が行き詰まっている場合、一番奥まった道路を認定するときは、条件があると思うが、そのまま認定することに問題はないのか

A もともとあった認定路線の起点・終点が変わるということで、廃止と再認定ということで問題はないと考えている。

Q 住宅開発の場合、一番奥まったところには車が回転できるスペースをつくって、寄附採納をしなければならないのでは

A 開発に伴い整備された道路の寄附採納基準や開発帰属については、細かい規定があるが、今回は、もともとあった認定道路であるため、寄附採納や帰属には該当しないと考えている。

予 算 委 員 会 (補 正 予 算)

第22号議案

「平成29年度大野城市一般会計補正予算(第8号)について」

歳入歳出予算の総額からそれぞれ7億8572万7000円を減額。

補正後の歳入歳出予算総額349億9067万4000円。

Q ふるさと納税で5800万円という大きな減額をする理由は

A 平成28年度の税額控除が3500万円あり、平成29年度はその額を上回るように設定し、歳入金額として8800万円を見込んだ。

その達成に向け、説明会を開いたり、個別に会社を訪問したり努力したが、魅力的な返礼品の数や種類をそろえられなかったことやPR不足のため、歳入金額が大幅に下回ったためである。

Q 臨時財政対策債について、13億1000万円の全額を借り入れるとのことだが、今後も全額を借り入れるのであれば、将来負担が大きくなるのではないか。今後の考えは

A 臨時財政対策債は、地方交付税の基準財政需要額に償還金を償還期間20年間として算定されている。市は償還期間を15年としているため、一時的には償還金が算定よりも大きくなるが、償還期間の違いから、実際の償還よりも地方交付税に算定される金額が多い状況になり、将来負担は抑制されると考えている。

しかし、臨時財政対策債の残高が多くなれば、将来負担に与える影響も大きいことから、発行額のあり方や償還方法について検討を進めていく。



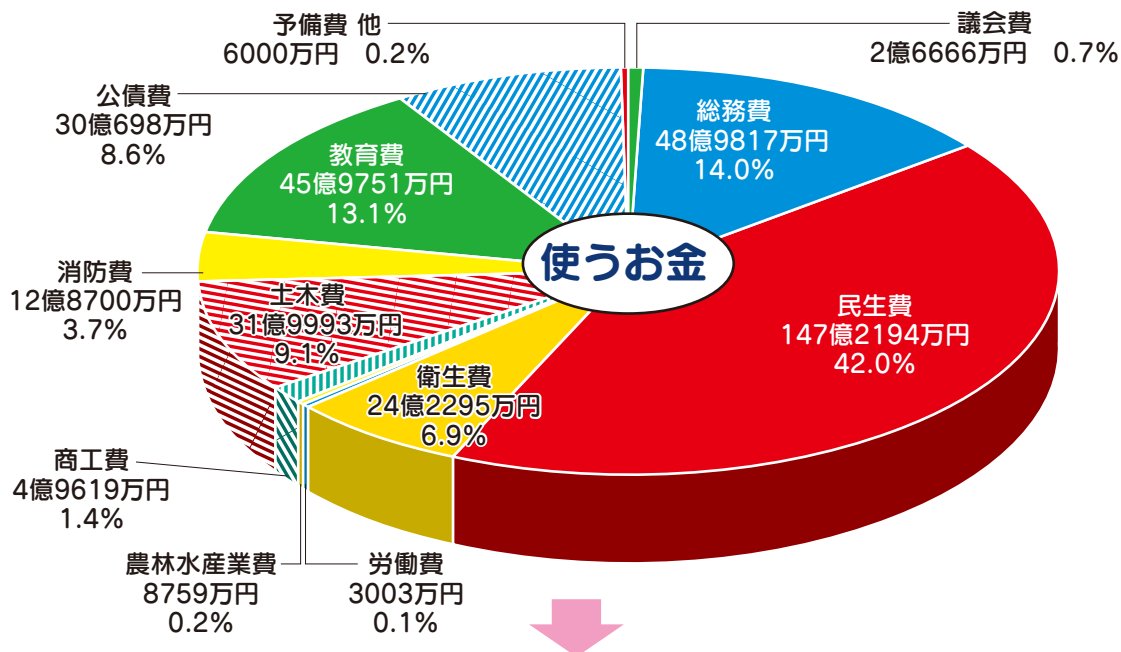
平成30年度内に策定

3月 定例会

平成30年度一般会計予算 歳出

350億7500万円

前年度に続く 500万円の増額！



教育費 前年度比54.5%増

- ①小学校校舎等大規模改造事業
11億8484万円
- ②小中学校日本語支援ボランティア派遣事業
100万円
- ③PTCA 活動推進事業補助金
(ランドセルクラブ事業)
5061万円
- ④不登校支援事業
2809万円
- ⑤教職員勤務管理システム導入事業
323万円

総務費 前年度比18.4%減

- ①まどかぴあ施設更新事業
2億4995万円
- ②児童福祉施設等維持補修事業
353万円

民生費 前年度比0.9%増

- ①認可保育所定員拡充事業
1億3962万円
- ②子ども・子育て支援給付
20億2123万円
- ③大野北保育所建替事業
3273万円
- ④後期高齢者医療療養給付
7億5238万円

土木費 前年度比16.1%減

- ①都市政策推進事業
1億1750万円

消防費 前年度比2.1%減

- ①災害情報伝達システム改修事業
1億2276万円

平成30年3月定例会を、2月22日（木）から3月19日（月）まで開催。
38件の議案（条例・予算等）を審議し、全て可決・承認・同意。
その他報告が2件。3会派が代表質問。8名の議員が一般質問。

※万円未満は切り捨て

第6次大野城市総合計

少子高齢化対策も発進!

待機児童0を目指す

待機児童の解消に向けて、認定こども園の新設など、計画的に事業を進めている。平成30年度4月には保育定員を1222人増員し、その後も平成31年度に219人、平成32年度に34人と3カ年で375人（現在の定員の約2割）の増員を行う予定である。少子化傾向ではあるが、働く女性は増える社会情勢。今後も保育需要を見込みながら、適宜対応を検討していく。

高齢者対策の充実

直営である基幹型地域支援センターにおける予防プラン等の一部を、各地区地域包括支援センターへ移行し、高齢者が身近な所でケアマネージャーに相談できる体制が本格的に稼働する。

介護保険事業第7期1年目ということで、今後も介護者のニーズに合わせるサービスを充実していく。

介護保険料は、3年に一度見直され、平成30年度も上がっている。高齢者増により今後上昇することは免れないが、健康寿命の促進・サービスの質や量を高めることに取り組む。

安全・安心でにぎわいのあるまちへ!

Wi-Fi導入事業

災害発生時などの情報提供を拡充するため、避難所である市内小中学校に公衆無線LAN(Wi-Fi)の整備をする。

防災人材育成事業

地域の自主防災組織などの地域防災の担い手となる人材や市職員を計画的に育成し、地域防災力と組織的な災害対応能力の向上を目指す。

コミュニティ推進

第5次大野城市総合計画で、特に達成度が低い施策を強化し、第6次大野城市総合計画へ反映していく。

「コミュニティ別まちづくり計画」を策定し、住民主体のまちづくりを推進していく。

「つなく、つながる。」
市民ミュージアム



OCCM

大野城心のふるさと館

Onojo Cocoro-no-furusato-kan City Museum

心のふるさと館
7月21日オープン



予算委員会（当初予算）

第28号議案

「平成30年度大野城市一般会計予算について」

Q シティプロモーション戦略策定事業の目的、内容は

A まちを売り込むということ。本市は転出する人より転入する人が多く、人口は微増しているが、選ばれる要因が何なのかをしっかりと把握したいと考えている。平成30年度に検証し、その動向を踏まえて戦略を立てたいと考えている。

Q 本市の財政状況は、他市に比べ健全と言われていたが、繰上げ償還がその大きな要因ではないかと思われる。基金積み立てもしてあるが、市民に還元することも必要では

A 基金残高については、確かに他市に比べ多く、平成29年度末で約140億円程度である。公共施設整備基金など使用目的のはっきりした基金に積み立てていくことで、市民のみなさんに還元していくとともに、必要な事業については、積極的に基金を使っていく考えである。

Q ふるさと納税推進業務委託料が2461万円計上されているが、ふるさと納税額が少なかった場合は

A 平成30年度ではふるさと納税の寄附額を4600万円見込み、それに対する委託料を算定している。寄附額が見込みより少なければ、委託料もそれに比例するため、マイナスになることはない。

Q Wi-Fiを設置する場所と利用方法は

A 小中学校の体育館を予定し、災害時パスワードを入力して利用してもらう予定。

Q 心のふるさと館の維持管理費約6900万円は市庁舎に比べ、高額に感じるが、主な内訳は

A 設備の保守点検料1498万円、清掃委託料935万円、警備委託料738万円、環境衛生管理業務委託料104万円、樹木管理業務委託料25万円、施設管理委託料3574万円などである。

Q 小中学校の空調等の整備状況は

A 小学校の天井扇は今年度、空調は平成32年度

で全校整備完了予定。中学校の天井扇は平成31年度全校整備完了予定。なお、空調は全校整備済みである。

Q 防災人材育成事業の予定対象者数と1人当たりの費用は

A 市職員30名、消防団員10名、各自主防災組織から54名、合計94名を予定している。なお、1人当たりの資格取得費用は11000円である。

Q Jアラート改修事業の対象校と実施時期は

A 小中学校全15校を対象に、秋以降に実施予定である。

Q コミュニティバス運行事業補助金が6266万円程と増えた理由は

A 今年度が契約更新の年で人件費の値上がりや乙金第二土地区画整理事業の完了に伴う、ルート変更等によるものである。

Q 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業にかかる市負担金5億6900万円は

A 平成30年度は、交付金事業で42億円、県単独事業で932万円程の事業額が予定されており、それに対する負担金である。

Q 私立保育所助成費の届出保育施設運営支援事業が前年度より500万円程減額となっているが、その理由は

A 現在、保育施設定員の拡充を行っており、平成30年度は122人の定員の拡充を行うことから、待機児童が若干減るのではないかと見込んでいる。それに伴い、待機児童を受け入れた届出保育施設に対する補助を減額をするもの。

Q 今年度敬老祝い金として、5000万円程が計上されているが、今後に対する考えは

A 祝い金は、高齢者の方に大変喜ばれている事業であり、今後も継続したいと考えている。しかし、対象者は年々増加傾向にあり、近いうちに、対象年齢や支給金額の見直しが必要ではないかと考えている。

審議結果一覧

平成30年第1回3月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第1号議案	専決処分した事件の承認について(大野城市税条例の一部を改正する条例)	全会一致承認	—
第2号議案	大野城市ふるさと応援基金条例の制定について	全会一致可決	総務企画委員会
第3号議案	大野城市コミュニティ条例の全部を改正する条例の制定について	〃	〃
第4号議案	大野城市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の制定について	〃	〃
第5号議案	大野城市スポーツ推進審議会設置条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第6号議案	大野城市心のふるさと館の設置及び管理に関する条例の制定について	賛成多数 可決 (賛成17・反対2)	〃
第7号議案	大野城市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	福祉文教委員会
第8号議案	大野城市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 可決 (賛成17・反対2)	〃
第9号議案	大野城市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	〃
第10号議案	大野城市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第11号議案	大野城市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第12号議案	大野城市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第13号議案	大野城市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 可決 (賛成17・反対2)	〃
第14号議案	大野城市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	〃
第15号議案	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	〃	総務企画委員会
第16号議案	市道路線の廃止について	〃	都市環境委員会
第17号議案	市道路線の認定について	〃	〃
第18号議案	財産の取得について	〃	福祉文教委員会
第19号議案	大野城市固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致同意	—
第20号議案	大野城市監査委員の選任について	〃	〃
第21号議案	平成29年度大野城市一般会計補正予算(第7号)について	全会一致可決	予算委員会
第22号議案	平成29年度大野城市一般会計補正予算(第8号)について	〃	〃
第23号議案	平成29年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	〃	〃
第24号議案	平成29年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第4号)について	〃	〃
第25号議案	平成29年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)について	〃	〃
第26号議案	平成29年度大野城市水道事業会計補正予算(第4号)について	〃	〃
第27号議案	平成29年度大野城市下水道事業会計補正予算(第4号)について	〃	〃
第28号議案	平成30年度大野城市一般会計予算について	賛成多数 可決 (賛成17・反対2)	〃
第29号議案	平成30年度大野城市国民健康保険特別会計予算について	全会一致可決	〃
第30号議案	平成30年度大野城市介護保険特別会計予算について	〃	〃
第31号議案	平成30年度大野城市後期高齢者医療特別会計予算について	〃	〃

代表質問 ～ 大野城市長の考えを問う ～

※(質)とは……………質問者のことです。

※代表質問とは…市長の施政方針及び所信表明等に関して、会派から代表者を立てて質問を行います。

注：各会派の最後にあるQRコードから映像を見ることができます。

会 派	改革フォーラム	自民まどか・自民大野城	公明党
所属議員	(質) 松崎 正和 関岡 俊実 松田 美由紀 福澤 信光 松崎 百合子	田中 健一 山上 高昭 高山 やす子 天野 嘉久孝 森 和也 井福 大昌 中村 真一 平井 信太郎 (質) 関井 利夫	(質) 井上 正則 白石 重成 河村 康之 大塚 みどり
内 容	1. 子育て支援事業と高齢者の介護サービスの充実について 2. 学校における働き方改革について 3. 交通バリアフリーの整備について 4. 総合的な交通体系の確立について 5. ICT化による行政サービスの充実について 6. 空き家等の対策及び高齢者等の住宅確保の支援について	1. 施政方針について 2. 第6次総合計画について 3. 平成30年度事業内容について	1. 平成30年度施政方針について

市民生活の安心と安全に向けて

改革フォーラム

問 子育て支援事業と高齢者の介護サービスの充実について

答 待機児童の解消に向けて、幼稚園の認定こども園への移行や保育所の定員増を図るとともに、企業主導型保育事業所への児童の受け入れや届出保育施設への支援などを行っている。今後の定員拡充計画については、子ども・子育て支援事業計画に盛り込み、周知していく。

要支援認定者などの比較的軽度の利用者に対しては、介護予防日常生活支援総合事業を開始している。介護保険法の改正にあわせて、総合事業の負担をさらに5%程度引き下げることとしており、比較的軽度の方はより気軽に利用いただけるようになると考えている。

問 交通バリアフリーの整備について

答 マウントアップ型歩道の勾配の緩和や、道路改良等に合わせ、セミフラット型への改修を検討し、人に優しい歩道の整備を推進していく。

JR水城駅は、バリアフリー化対策が必要であるので、エレベーターの設置など、JR九州との協議を継続していく。
また、西鉄の高架化に伴い、新たに整備する駅へのホームドア設置については、高架化のタイミングに合わせての整備は難しいが、設置可能となる構造や仕様で整備することを鉄道事業者との間で確認しているため、今後も設置を要望していく。



▲駅に設置されたホームドア(イメージ)



▲映像はこちら

更なる希望の市政の実現について

自民まどか
自民大野城

問 市政運営に臨む抱負について

答 第5次大野城市総合計画に掲げた「ともに創る個性輝くやすらぎの新「コミュニティ都市」をまちの将来像として掲げ、さまざまな取り組みを実践してきた。平成30年度は本計画の最終年度であり、次のステージに繋げていくという非常に重要な1年となる。そのため、実施しなければならぬ取り組みを持ち越すことがないように、最後まで確実に全力を尽くす決意をしているところである。これからもさらなる発展に向け、10年後、20年後の大野城市の姿を思い描きながら、現在進めている施策を一步一步着実に取り組んでいく。

問 本市のこれからの総合計画は市民の皆様のアンケートの結果などを踏まえ、総合計画審議会において第6次大野城市総合計画の基本構想をご審議いただいているところである。また、これから実施の説明会やパブリックコメント、ワークショップなど、作成段階から市民の皆様

に

ご参画を頂き、目指すべき都市の将来像とその実現に向けたまちづくりを共有しながら、将来にわたって共感いただける計画の策定を考えている。総合計画は市民の皆様とともにつくり上げていくものであり、今後も議員各位、各団体や地域の皆様などと共に、大野城市の将来像と、その実現に向けたオンラインのまちづくりの計画をつくり上げていく。



まちの未来シンポジウム。

この場、大野城市では、子どもたちから市民の皆様まで幅広く参加いただき、まちの未来について話し合い、意見を交換し、未来のまちづくりの計画をつくり上げていく。

4月 9日(土) 南2 4月 12日(水) 東2
4月 13日(木) 北2 4月 16日(土) 中央2
19時~20時30分 各2時間 / 19時~20時30分

※申込先: 大野城市役所 公民館課 095-582-3809 FAX: 095-582-4942



▲映像はこちら

平成三十年度施政方針についての見解を問う。

公明党

問 住みよい街であるべき本市の交通網整備について

答 高齢化の進展に伴い、移動支援が必要な人の増加も見込まれるため、移動手段の選択肢と共に福祉施策も含め検討していく。

問 災害を想定した「避難訓練」の新たな取り組みについて

答 大規模なイベントが開催される、まどかびあなどの公共施設において、施設利用者が参加する避難訓練は実施できている。今後実践的な避難訓練の実施に向け調査・研究を進めていく。

問 「地区地域包括支援センター」の今後の在り方と、介護離職者対策、医療と介護の一体化について

答 高齢者が住みなれた地域で安心して住み続けられるよう地域包括支援センターを設置した。家族介護を理由とした離職者の増加に対し、この地域包括支援センターへ早期に相談していきけるようPRをさらに図っていく。

問 災害時における警戒区域の未然防止対策としての急傾斜地崩壊対策工事の計画について

答 平成30年度は平野台区内の急傾斜地対策工事を実施。今後、市内の急傾斜地においても順次、対策事業を行っていく。

問 「放課後総合学習ランドセルクラブ」と、学童保育との一本化について

答 児童の放課後事業であるランドセルクラブ、留守家庭児童保育所アンビシャス広場の今後のあり方について、モデル事業も含めて施策を展開しており、一体的な運営を精力的に研究、試行を進めているところである。



▲映像はこちら

一般質問 ～ これからの大野城を問う ～

注：★がついている内容を掲載しています。なお、各議員の最後にあるQRコードから映像をみることができます。

森 和也 ★通学路の安全確保について

中村 真一 ★地方税と上下水道料金及び市営住宅家賃の収納について

河村 康之

- 在宅患者救急時電話相談事業の推進と本市独自の取り組みについて
- ★誰もが安全に通行できる歩道整備の取り組みと対策について

松崎百合子

- ★社会保障・税番号制度、いわゆるマイナンバー制度について
- 多文化児童・生徒および若者への日本語支援について

平井信太郎

- 認知症に対する本市の対応について
- ★小学生の校区外活動について

大塚 みどり ★教育環境の拡充

松下 真一 ★公共施設の統廃合と自治体財政について

清水 純子 ★福祉循環型社会システムの構築について

通学路の安全確保について

森 和也



問 通学路の一斉点検の結果、どのような安全対策を講じてきたか。また、それぞれ何件か

答 通学路安全点検を開始した平成24年度から昨年度までの5年間で、125カ所の点検を行い、結果に基づき行った対策は87件である。実施した対策の内容と件数は、歩行者注意の文字や減速マークなど運転者への注意のための路面標示の新設や再塗装が26件、路側帯や交差点などを緑や赤色にカラー舗装するものが11件、路側帯の拡幅や線の塗り直しなど歩道外側線の調整に係るものが10件、横断歩道の新設や塗り直しが7件、その他、児童・生徒への注意看板の設置や植栽の伐採、防護柵の整備・改修、カーブミラーの設置などを行ってきた。

問 見守り隊などを運営している地区を把握しているか

答 見守り活動をしている団体は、行政区、シニアクラブ、PTAなど、平成30年1月末現在で58団体ある。

問 防犯パトロール登録者数は、どれくらいか

答 平成30年1月末現在で736人が登録されている。

問 通学路における見守りカメラの設置状況は

答 主要な交差点6カ所に19台の見守りカメラを設置し、うち交差点5カ所、16台の見守りカメラが通学路内での設置である。今後、警察と協議しながら、犯罪抑止に効果的な場所への設置を進めていく。



▲月の浦区子ども見守り隊の活動の様子



▲映像はこちら

「誰もが安全に」通行できる 歩道整備の対策は。

河村 康之



問 誰もが安全に通行できる歩道とは、どのようなものであると考えているか

答 誰もが安全に通行できる歩道とは、大きな段差がなく、幅員にゆとりがあり、高齢者や視覚障がい者、車椅子利用者など、全ての歩行者が歩きやすいと感じる歩道であると考えている。

問 平成29年3月議会で、歩道の街路樹根上りの総点検を尋ねたが、その総点検はどうだったのか。また、今後の改修計画は

答 街路樹の根上がりについては、今年度の街路樹管理業務において点検を行った。その結果、街路樹を設けている97路線のうち18路線に根上りを確認し、緊急を要する7路線については、直ちに改修をした。なお、緊急を要さない路線については、平成30年度以降危険度に応じて順次改修していく予定である。

問 県道と市役所の間にある歩道がモニュメント「賛歌（アリア）」の舗装路面からこぼれ出ている



◆モニュメント 賛歌（アリア）前 歩道



▲映像はこちら

小石により、誰もが安全に通行することが困難であると思うが、どのように考えるか

答 指摘の箇所は、老朽化により舗装の表面がはがれ小石が散らばり、特に杖や車椅子が使われている方などが通行しにくくなっている。これまでも何度か職員などが清掃を行ってきたが、根本的な解消には至っておらず、舗装表面の劣化は徐々に進んでいるため、歩行者の通行に支障を来さないよう検討しており、早急に応急処置を実施したい。

子どもの活動範囲を広げ、 自主性を育てよう！

平井 信太郎



問 小学生同士の放課後や休日の校外活動は禁止されているがなぜか

答 小学生だけで自由に校区外の大規模店舗や遊戯施設への出入り、移動中に起こり得る事件・事故や非行行為を未然に防ぐ目的で禁止している。

問 どのような経緯で校区外活動禁止の規則が出来たのか

答 市内の小学校の校区外活動禁止の決まりは、開校当初から設定されている。

問 小学生同士の放課後や休日の校外活動は、親の責任の範囲だと思いがいかがか

答 子どもの安全を守るため、放課後や休日の活動範囲について調査研究していく必要があると考えている。

問 子どもたちの自主性を育てるためにも校区外活動の制限を廃止すべきではないか

答 今後、学校、地域、家庭が協働できる学校運営協議会や、学校と家庭が連携したPTA運営協議会の場で、児童の安全、自立、家庭生活等を考えた議題の検討が必要である。

新年度中の校長会及び学校運営協議会において、議題として検討する。



※小学生同士で校区外の神社やお祭りに行く事は禁止されています



▲映像はこちら

公共施設の統廃合と 自治体財政について

松下 真一



問 今後、公共施設の管理運営方針は変更するのか

答 現在のところ、本市においては公共建築物に関しては、複合や統廃合の計画はないので、施設の管理運営方針の変更はない。

問 今後、地域運営組織としての各コミュニティは変化するのか

答 新たに（仮称）まちづくり協議会の体制づくりを進めていて、地域住民がみずから住む地域の課題を洗い出し、それぞれの目指すべき将来の姿を共有した上で、地域住民が主役のまちづくりを進めるためのコミュニティ別まちづくり計画の策定を行う。今後は、地域住民が主体であった活動に加え、企業や団体が加わることで新たな活動の担い手、新たな視点による事業の構築などを、コミュニティの活性化を目指している。

問 公共施設の再編・統合と地方交付税の関係は変化するのか

答 本市では、基準財政需要額の算定費目の公共施設の再編や統合

の計画はないので交付税の算定に影響はないと考える。

問 本市の公共施設の中で、再編・統合を実施する計画は

答 公共建築物は、将来施設の再編・統合する計画はない。

上下水道局では、平成28年度に水道施設再編計画及び更新計画を策定し、市内4つの配水池の統廃合、牛頸浄水場の浄水機能の廃止と瓦田浄水場への統合、中配水池の廃止を平成30年度から36年度までの間に行う計画としている。



▲映像はこちら

地方税と上下水道料金の 収納について

中村 真一



問 収納対策についてどのような対策を取っているか

答 平成28年1月に滞納整理支援システムを導入。平成29年10月から催告業務の民間委託を開始した。

問 クレジットカードで地方税を納付できるように検討しては

答 納税の利便性が向上し、収納率の向上が期待できることから、他の納付手段とあわせて導入を検討していく考えである。

問 上下水道料金の滞納額を減らすための対策は

答 10項目の取組みを行っている。まず、納入督促・催告を行う。連絡がない場合は停水をするための訪問を行う。平成26年度から、停水保留約束書による通知を確実に見てもらうように黄色封筒を導入。平成27年度からは新納付誓約書の導入を行い、停水が不可能な滞納者等については、法的対策への移行を行っている。

問 上下水道料金について、コンビ二収納の納付状況とクレジットカードでの納付の必要性はどう考えているか

答 件数、収納額とも導入当初の平成23年度に比べ平成28年度は増加している。効果については24時間支払いが可能であることから、利便性が確実に向上、収納率も上昇している。クレジットカードに関して導入している自治体に調査をした結果、収納率の向上につながる見込みがない、多額の収納コストがかかることから今回は見送ることになっている。



▲映像はこちら

マイナンバー制度は大丈夫か？ 本市も漏えい

松崎 百合子



問 マイナンバー制度実施状況は
昨年11月13日から本格運用。情
報提供ネットワークを通じて所
得額等を照会し順調である。

答 昨年5月12日付で1万2332
事業所へ特定郵便で発送。誤配
達で7事業所8名分が、開封さ
れた状態で返送。通知書には、
従業員の住所、氏名、税額と共
にマイナンバーを記載。

問 費用対効果はどうか

答 平成27年度のシステム改修費用
等は5958万6千円、地方公
共団体情報システム機構への負
担金は3280万9千円。

問 日本年金機構との連携は

答 本年3月から7月までに年金の
情報連携予定。平成27年5月に
国民年金の被保険者の氏名など
個人情報約125万件が流出。
その後安全性が確保された。

問 セキュリティ対策は

答 マイナンバーを扱うネットワー
クを専用回線とし切り離す等。

問 申請書類にマイナンバー記載を
拒否する場合は

答 補正を求める。なお拒否する場
合は情報連携はしない。

問 住民税の特別徴収税額通知は

2018年度は、いかがが
今年1月地方税法施行規則で、
「当面の間マイナンバーを記載し
ない」となった。この為記載せ
ずに発送の準備を進めている。



▲映像はこちら

入学準備金の支給時期と 2学期制の検討を！

大塚 みどり



問 就学援助の入学準備金は、近隣
市同様、入学前に支給するべき。
改正しなかった理由は

答 3月支給後、他市へ転出した場
合等、現在のシステムでは、対
応できないため、本市は認定
者のうち、市が制業者者に支払
う取り組みを行っている。

問 平成29年6月初旬、該当する親
がまだフロア出張所に出した
申請書が教育部に届いていな
かった。預けたことを証明する
すべがないので、水かけ論。

12月11日の予算委員会で、約4
カ月間、再発防止策が検討され
ていない事実もわかった。入学
前支給は、平成30年度から実現
するべき。今回のトラブルは、
市民サービスに大きく反する。
何が問題だと思っか

答 迅速な再発防止の検討、誠心誠
意努めることが大切。情報の共
有、具体的な対応をするように
指示をしていたが、最終的に、
確認がなかったことは反省すべ
きである。

入学前支給については、他市町

のやり方等を調査・研究し、しつ
かりと検証していきたい。

問 2学期制について、その後の経
過を教育長に伺う

答 校長会で平成30年度から学期制
に関する調査・研究を行ってい
く。学校長が職員の見聞を聞き、
いろんな意見を寄せることにな
る。一斉に2学期制か、校長の
手挙げ方式か、働き方とあわせ
て検討していく。必要であるな
ら、学校管理規則の見直しも可
能にする。

小学校の2学期制実施状況 (筑紫地区)

地区	状況
太宰府市	全校実施
春日市	全校実施
筑紫野市	全校実施
那珂川町	全校実施

※大野城市だけ3学期制！！



▲映像はこちら

2040年！だれが 団塊ジュニアを介護するの？

清水 純子



問 介護士不足の深刻化は、サービ
ス低下や現役世代にとっても介
護離職もある。実態と予測は

答 在宅介護実態調査では、約7割
は離職した家族はいないと回答。
一方で今後働きながら介護を続
けるのは難しいと14・9%が回
答。本市では地域包括支援セン
ターを中心に介護負担を軽減す
る取り組みの充実に努める。

短時間で働きやすい仕事として
PRを積極的に行い、受講者を
広める取り組みを進める。

問 安定した雇用を整備するために、
福祉循環型社会システムの構築
と地方創生を絡めて、雇用創出
という選択はできないか

答 働く人口の減少、介護や保育に
携わる職員も総体的に減少する
中で、介護需要、保育需要を供
給できる体制を構築することは、
地域での仕事創出や経済活性化
にもつながると考えている。

問 在宅介護を担う介護士の3割以
上が60歳代、6割が50歳代であ
り、後継者問題も厳しい状況で
あるが、その対策は

答 国は、介護人材のすそ野を広げ
ることを目的に生活援助従事者
研修制度を平成30年4月から新
たに導入。60時間程度の研修で
生活援助を実施する資格を得る
ことができる。既に実施中の介
護職員初任者研修は取得に係る
受講費の半額を助成し、受講後
3カ月以内に事業所に雇用され、
半年以上就労した場合は、自己
負担額から2万円を差し引いた
額を支給。新しく導入される研
修の受講費用の助成等も検討し、



▲映像はこちら

作品紹介

俳句

梅一輪咲いてリハビリ百歩行く

(牛頸・竹田 準)

平成やなりて花咲く大野城

(乙金台・泉 満夫)

ひな祭り終りて初夏のこいのぼり

(緑ヶ丘・平井静代)

肘若し弓引き絞る竹の春(大城・すつびんの昭)

短歌

結婚の記念日なれど

わが夫の気づかぬままに

暮れてゆくなり

(白木原・荒木洋子)

「おはよう」と朝の挨拶老い二人

静かな刻と空気が流れ

(緑ヶ丘・平井静代)

川柳

免許証返納終へて杖に乗る

(牛頸・竹田 準)

成年とて断じて許せぬ犬の糞

(緑ヶ丘・平井静代)

年喰らふ孫の駄洒落に蚊帳の外

(大城・すつびんの昭)

～作品掲載希望者募集～

議会だよりでは、みなさんからいただいた作品を紹介します。

●募集作品(未発表のものに限ります) ・俳句 ・川柳 ・短歌 ・写真

●応募方法 住所、氏名、電話番号を記入して、議会事務局「議会だより作品募集」係へ郵送または直接窓口へ
(〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号 Tel. 580-1938)

●注意事項

・未発表のものに限ります ・人物の写真については、掲載の了解を得てください ・提出された作品は、返却しません
・ペンネームでも可とします ・採用された作品は、平成30年8月15日号に掲載予定です



この夏、中学生模擬議会を開催

市内各中学校から“中学生議員”が議会の傍聴に来ました

～傍聴した中学生の感想です～

Q 議場はどうでしたか

- ・とても静かで緊張感がありました
- ・スクリーンが設置してあり傍聴しやすかった
- ・テレビやニュースで見たのといっしょだった
- ・想像以上に大きく、独特のつくりになっていて驚いた

Q 議員をどう思いますか

- ・真剣なやりとりにより好印象を受けました
- ・市が良くなるように限られた時間を使って質問していることが分かった
- ・質問のやりとりがうまくまとめられていた
- ・視察や研究を基に質問していて大変だがやりがいがありそうだ

Q そのほか何か感想はありますか

- ・議会を見る機会がなくて関心も薄かったが、今回の傍聴を通して興味がわいて、参加していきたいと思った
- ・議長席はとても高く、座るだけで緊張した
- ・今日はこのような機会を頂き本当にありがとうございました。8月にはいい姿で参加します

Q 8月には中学生議員として議席につきますが、抱負は

- ・自分たちの意見を発言できるように勉強して参加したい
- ・ただ質問するだけでなく、思いや考えを正直に伝えたい
- ・今日見たことを参考に分かりやすく意見を伝えるように頑張りたい
- ・みんなと協力して精一杯頑張ります
- ・市民の一人として市民の目線で市の発展に役立てるように積極的に、真剣に取り組んでいきます
- ・いい質問をして、いい意味で議員さんを困らせたい
- ・積極的に意見を発言して、議会について知り、大野城市が良くなるようにしたい
- ・中学生だからこそ気づくことを聞きたい
- ・他の人の質問も聞きながら、内容を深めたい
- ・緊張するかもしれないが、しっかり準備をして臨みたい
- ・『中学生議員』として、中学生の代表になるので、一つ一つの行動に気をつけながらがんばります

『中学生模擬議会』の開催について～皆さん傍聴に来てください～

日時 平成30年8月下旬（詳細については決まり次第ホームページ等でお知らせします）

場所 大野城市役所4階本会議場

お問い合わせ 大野城市議会事務局 電話580-1938

広報委員会

委員長	高山	やす子
副委員長	森和	也
委員	松田	美由紀
委員	山上	高昭
委員	大塚	みどり
委員	松崎	百合子

平成28年に選挙権年齢が18歳に引き下げられ、若い時から身近にある地方自治や市議会議員の仕事について知ってもらい、考えてもらうことは、益々大切になっていきます。我々議会も、身近に感じて頂くために、昨年11月のまどかフェスティバルでは、議場開放を行いました。多くの方に来場頂きましたが、初めて来たとおっしゃる方が殆どでした。そして、8月には、上記のように、大野城市議会では、初となる『中学生模擬議会』を開催します。参加し、体験することで、議会に対する関心が深まればと考えています。市民の皆さんも議場へお越しください。市役所の4階です。

（山上高昭）

あんな